In April 2022, Osaka City University and Osaka Prefecture University marge to Osaka Metropolitan University

Title	第 26 回大学教育研究セミナー ： 実施報告
Author	西垣, 順子
Citation	大阪市立大学大学教育. 17 巻 2 号, p.57.
Issue Date	2020-04-30
ISSN	1349-2152
Type	Departmental Bulletin Paper
Textversion	Publisher
Publisher	大阪市立大学大学教育研究センター
Description	
DOI	10.24544/ocu.20200622-006

Placed on: Osaka City University

Osaka Metropolitan University

第26回大学教育研究セミナー　実施報告

【テーマ】　ジェンダーの視点からキャリアデザイン教育を考える

【日時・場所】

2020年２月17日（月曜）　午後３時30分～５時00分　全学共通教育棟840教室

【話題提供】

安達智子先生（大阪教育大学）

「若者のキャリア選択とジェンダー」

・ジェンダーの作用について

・職業イメージと自己効力感の関係

・若者が描く将来像

【コメント】飯吉弘子（大学教育研究センター）

【企画・司会】西垣順子

【質疑など】

コメントやフロアからの質問を受けて、次のような質疑があった。

・学生の職業イメージや自己効力感のギャップを埋めるには、例えば同性のロールモデルによる情報提供だけでは不十分で、アクティブラーニング的な作業が必要である。

・M型キャリアを希望する女子学生は依然として多いが、職業復帰についてはかなり甘い見通しをもっている。実際の状況は体験しないとわかりにくい様子である。

・これからの時代（知識基盤社会、グローバル化）におけるワークキャリア、ライフキャリアのあり方はどういうものか。

・男性が少数派の職業の場合、同性のロールモデルや学生自身が自分の考えを発信できることが大事である。

アンケートには、学生の意識（自分や将来の配偶者への職業継続希望など）が数十年前とほぼ変化していないことへの驚きなども書かれていた。

※　第26回大学教育研究セミナーは、全学共通教育教務委員会および全学FD委員会との共催で実施した。また、ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（牽引型）連携型共同研究助成「ジェンダー平等を基軸にした大学評価のあり方についての研究－学生・院生のキャリアデザイン支援を中心に」の一環としても実施された。

文責：西垣順子